

田原地区体育部

田原地区の体育部の活動は、本地区の自治会（三ヶ野、明ヶ島、明ヶ島団地、東部台団地、八大団地、西島、玉越）の体育委員で構成される体育部と公民館、地区社会福祉協議会の三者が協力し合い、計画・準備・運営・評価などにかかわり、非常に良い状態で機能しています。

その顕著な例が三世代運動会です。親・子・孫が運動会に参加し、自治会対抗戦の形で競技を行っています。以前は競技ごとの順位に得点をつけ、最終的に総合得点を競っていたこともありましたが、少子高齢化が進み、自治会によっては年代別の参加選手を揃えることだけでも困難な状況になってきたため、総合得点を競うことはなくなりました。

田原地区の運動会の特徴として、次世代を担う中学生に積極的に三世代運動会に参加してもらうだけでなく、運動会を大人の体育委員らと共に運営してもらうということが挙げられます。おじいちゃん、おばあちゃんの世代や、親の世代、更には自分たちより年齢が低い世代の人たちと主体的に関わってもらうことで、地域の構成員としての自覚を持ち、行事の運営を遂行することで責任感を養い達成感を感じてもらっています。

平成20年度は、体育部の中に実行委員会を作り、運動会を盛り上げようとする熱意が高まったことで大勢の参加者になりました。前日のリハーサルが功を奏しスムーズな進行がなされました。中学生は自分の担当を的確にこなし、特に放送担当の女子中学生は飛び入りダンス等で運動会を盛り上げてくれました。

競技の中でも「三世代リレー」は、年代を超えてバトンを受け継ぎ、地区対抗戦の形で走り抜く姿は圧巻でした。最近は前述のように少子高齢化、核家族化の影響でこのリレーは継続を難しくしていますが、時代が進んでも三世代運動会は田原の伝統であり、この名前はずっと継承されていくことでしょう。

体育部が関わる行事としては、各自治会住民の親睦を図るために参加しやすい自治会対抗形式の競技が長年いろいろと検討され、平成年代に入り以下のような内容にほぼ固定化されてきました。

- ①ソフトボール大会（男性）
- ②ソフトバレーボール大会（女性）
- ③インディアカ大会
- ④三世代運動会

- * 東部地区インディアカ大会
- 東部地区ソフトボール大会
- 東部地区バレーボール大会

- * 御厨、南御厨、西貝塚、田原の4地区

更に平成21年度はグラウンドゴルフ大会、ミニサッカー大会を予定しています。

東部地区の各大会には①～③の成績上位チームに出場権が与えられるため、地区住民の親睦を大切にしながら、東部地区への進出を目指して、好成績を挙げようと選手も応援する人も熱く燃え上がります。そして地域の仲間の輪が広がり、技と根性が醸成され観客にも心打つものが生まれます。



平成20年度運動会でのウォーキング講習会

「スポーツクラブたはら」は昭和50年に「田原サッカースポーツ少年団」として発足し平成21年で34年目を迎えました。平成19年には日本体育協会認定の総合型地域スポーツクラブとなり多種目、多世代、多志向を目指すスポーツクラブに再編成されました。更に平成20年11月にはNPO法人を取得して従来以上の幅広い活動を展開することとなりました。

平成21年度の活動内容の一例としてシニア健康体力づくりのプログラムがスタートし、ヨガ教室、健康体操、シニアナイターサッカー、健康相談会などが補助金を活用して無料で約半年間展開する予定となっています。磐田市委託のトレーニングマシンを備えたトレーニングハウスの利用者も多く、また5月からは活動の拠点となる地区のグラウンドが芝生化され、グリーンの濃さが日増しに強くなっています。併せてナイター照明も14灯になり夜間でのスポーツ活動も可能となり、健康で明るい地域社会を実現するための土台が整ってきています。